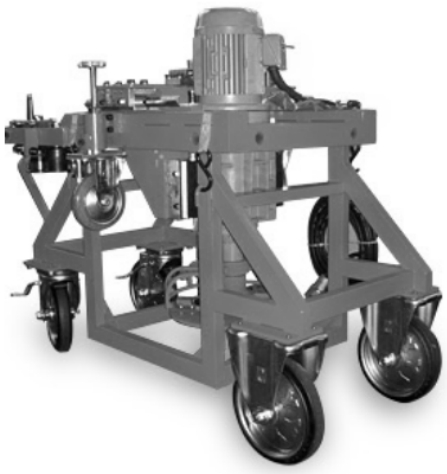
CA モルタル掘削機 ™

鉄道保線機器　レールマン

RAILMAN ®

取扱説明書



RC−2200

日本製

⚠ 警　告

●使用前に必ずこの取扱説明書をご熟読し、正しい使用方法でご使用下さい。
●この製品は、電動機搭載のため、雨天時や、水中でのご使用は絶対におやめください。
●本機は、軌道整備において、スラブ盤下の CA モルタル層の掘削作業以外の目的に使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
●使用時は、刃物カバーを必ず装着した状態で作業を行ってください。
●使用時は、手（指）、足を刃物に絶対に近かづけないでください。
●本取扱説明書は、ホームページ上からダンロード下さい。配布は行っておりません。

株式会社 石田製作所

Ver,2

はじめに、

☆このたびは、RAILMANのCAモルタル掘削機をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。

●この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用して頂くために作成しています。本機の取扱いを誤りますと、事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。

●本機の取扱いはこの取扱説明書の内容を理解し、安全な取扱いができる人が行ってください。また、安全作業上で影響がでるような病気・薬服用・体調不良の時は、本機の使用を控えてください。

●本機を使用した作業や本機の取扱いにおいては、関連する法律（労働安全衛生法、消防法、騒音規則等）および、その法律に基づく規則を遵守してください。

●本機を貸し出すときは、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するよう、指導してください。この取扱説明書は、いつでもご覧いただけるよう、所定の場所に保管してください。紛失・汚損・破損したときは、お買い求めの販売店にご注文ください。ご不明な点、お気づきの点がありましたら、お求めの販売店にご相談ください。また、本機についてのお問い合わせ時は、モデル名と製造番号をお知らせください。本機を破棄されるときは、産業廃棄物として関連法規に基づいた処理を行ってください。処理にお困りの場合は、販売店にご相談ください。

表　示	表示の内容
⚠ 危　険	【危険】は、死亡または重症を負う可能性のある切迫した危険な状況を示す表示です。
⚠ 注　意	【注意】は、軽傷または中程度の障害を負う可能性のある危険な状況を示す表示です。

1.安全上の注意

危険：感電

●電源につなぐ場合、モータ、ケーブルが正常な状態であることを確認してから接続してください。

危険：手（指）挟まれ　切断

●運転中、本機刃物が回転しているときは、ハンドル以外の場所に触れないでください。
指を切断する危険があります。

●点検・整備を行うときは、必ず電源をOFFしてください。

注意：感電

●モータ、ケーブルにご注意してください。

注意：手（指）挟まれ　切断

●本機、モータが運転しているときは、刃物交換はしないでください。

●運転中に異常を感じた場合、すぐにモータのスイッチをOFFにしてください。

注意：やけど

●運転中や停止直後は、モータやギアボックス、刃物が高温になっていますので、絶対に触れないでください。

●モータの点検・交換を行うときは、必ずモータを停止し、モータが冷えてから行ってください。

注意：けが

●本機が移動しないよう、水平で安定した場所に設置してください。

●モータを始動するときは、必ず本体をセット、固定した状態で、刃物が当たっていない状態で始動させてください。

●回転部に棒・針金・ひもなどを入れないでください。

●回転部に巻き込まれる恐れがありますので、長い髪は束ね、スカーフやアクセサリーは身に着けないでください。

●運転中は、レールの上以外の場所に移動しないでください。

2.仕　様

全閉外扇形3相交流誘導電動機

製品型式	RC-2200
外観寸法	1100mm×780mm×800mm
本体重量（台車重量）	120kg （運搬台車50kg）
搭載モータ	2.2kW 4P 3相200V　50/60Hz
主軸回転数	120 rpm(50Hz)
	145 rpm（60Hz）
切り込み深さ	標準　100 mm
刃厚	34mm
切削能力	毎分約1.7m程度（CA材によって異なる）

3.用　途

●本機は、スラブ軌道のCAモルタル補修工事において、
劣化したコンクリートアスファルト（CA）を掘削するのに使用する
専用機です。

上記以外の使用には、絶対に使用しないでください。

4.付属品

①	本体　CAモルタル掘削機（台車付き）	1台
②	両口ラチェットレンチ　17×19	1本
③	クランクハンドル	2本
④	プラスドライバー	1本
⑤	両口メガネレンチ　8×10	1本
⑥	両口メガネレンチ　13×17	1本
⑦	両口メガネレンチ　19×21	1本
⑧	六角レンチ　4mm	1本
⑨	六角レンチ　5mm	1本
⑩	六角レンチ　6mm	1本
⑪	六角レンチ　8mm	1本
⑫	六角レンチ　17mm	1本

●取扱説明書　1 冊　（ペーパーレス化に伴い、以後、Web 配信をのみを予定。）

オプション

●薄刃ホルダー

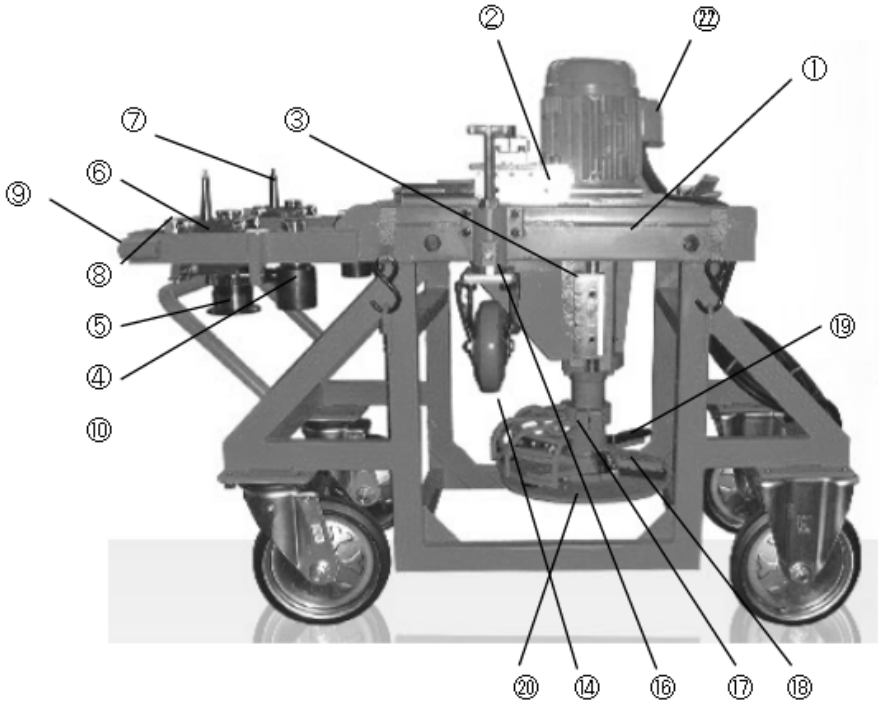
薄刃（ 1 セット 6 枚）

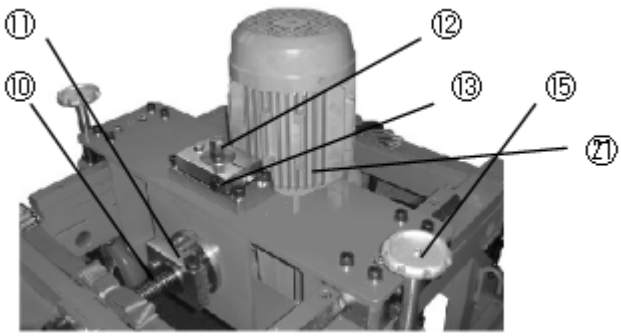
●樹脂用ホルダー

薄刃（ 1 セット 8 枚）

※サービスパーツは、弊社またはお買い上げの販売店へお買い求めください。

5.各部の名称

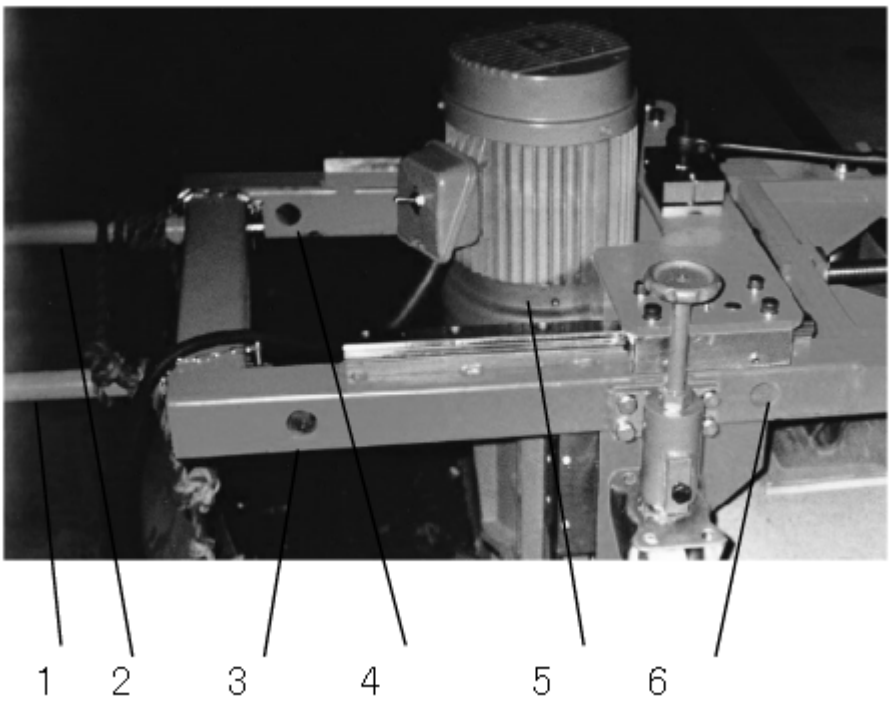




①フレーム ②スライドベース ③ボディー ④固定側クランプローラー ⑤移動側クランプローラー ⑥クランプローラーベース ⑦ハンドル取付用シャフト ⑧スペーサー ⑨クランプボルト ⑩刃物切り込み調整ネジ ⑪刃物切り込み調整ネジロックボルト ⑫高さ調整ネジ ⑬高さ調整ネジロックボルト ⑭キャスター ⑮キャスターハンドル ⑯ロックボルト ⑰刃物カバー ⑱刃物ホルダー ⑲掘削替刃 ⑳あて板 ㉑電動機 ㉒スイッチ

6.運搬方法

本体（フレーム）のハンドル取付穴（6ヶ所）へハンドルを挿入する。
刃先に注意しながら、本体をレール上へ運搬する。

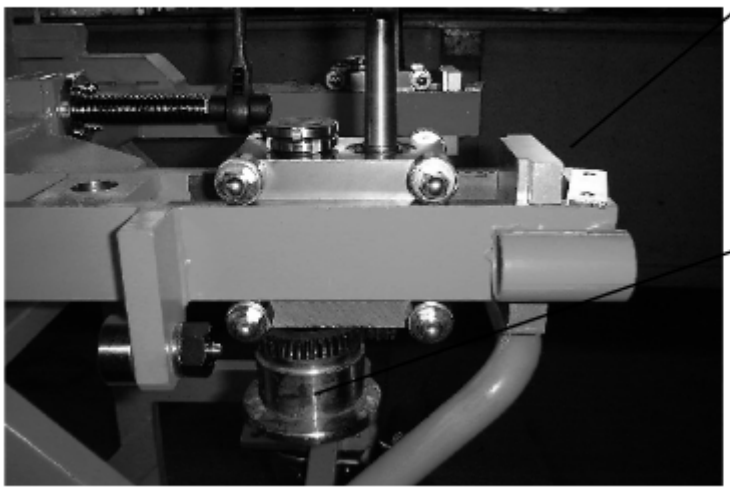


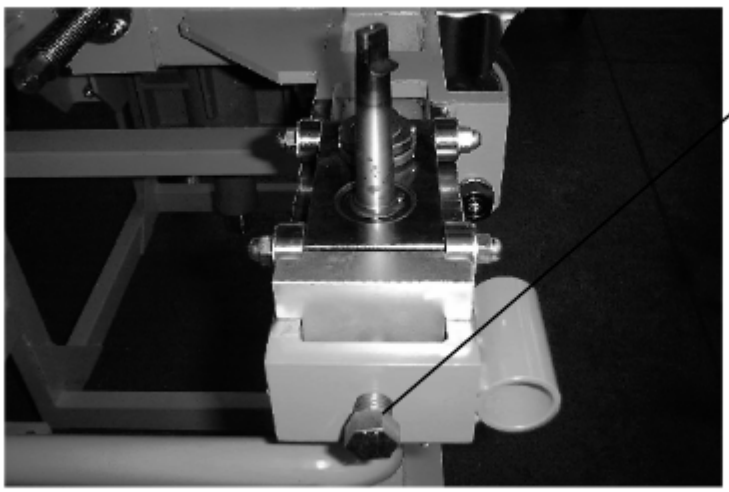
⚠
落下注意 ‼
本体を運搬する場合は、重量物ですので、落下にご注意ください。
誤って、落下させてしまった場合、ケガをする原因になります。
また、本体のスピンドルシャフトの変形など、本体の故障の原因になります。

7.操作方法

① レール上への据え付け

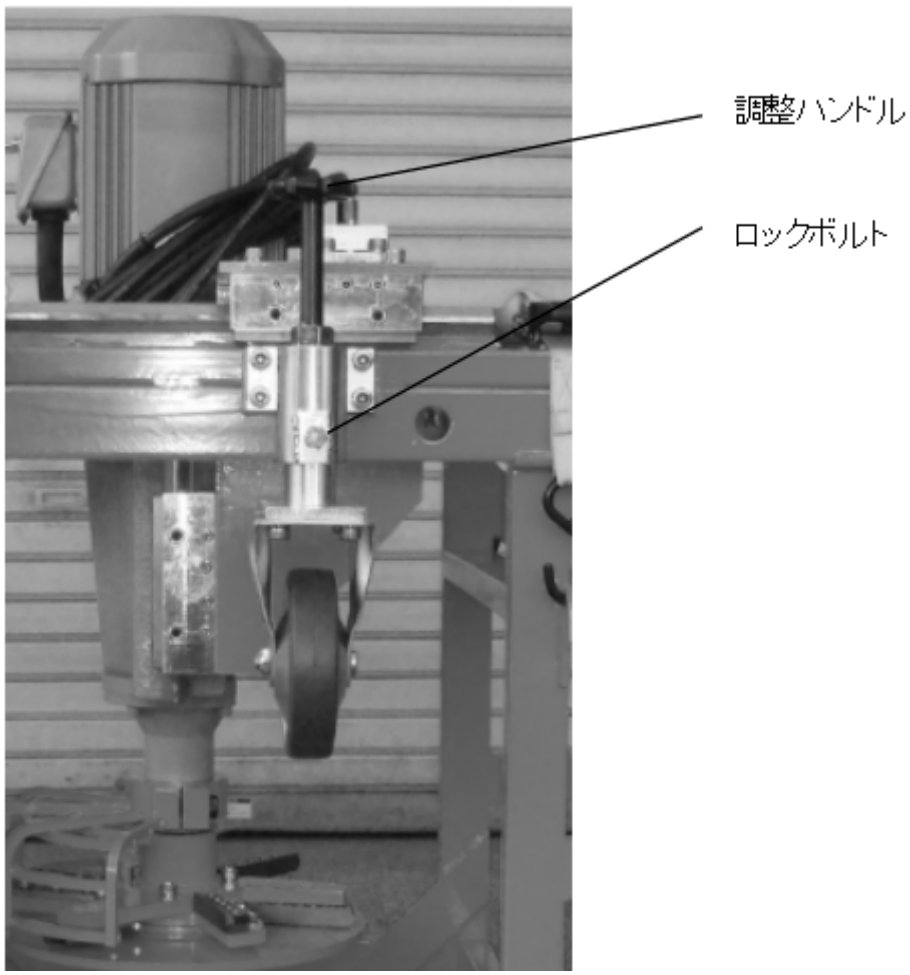
本体を台車から、取り外し、レールへ運搬し、
固定・調整の各ローラーカラー間にレール頭部を入れ、
移動側ローラーカラーのつば部がレール首下に入るように
ローラーベースを移動後、
スペーサーを上部へ引き上げ、ロックボルトを締め込む。





②移動用キャスターの高さ調整

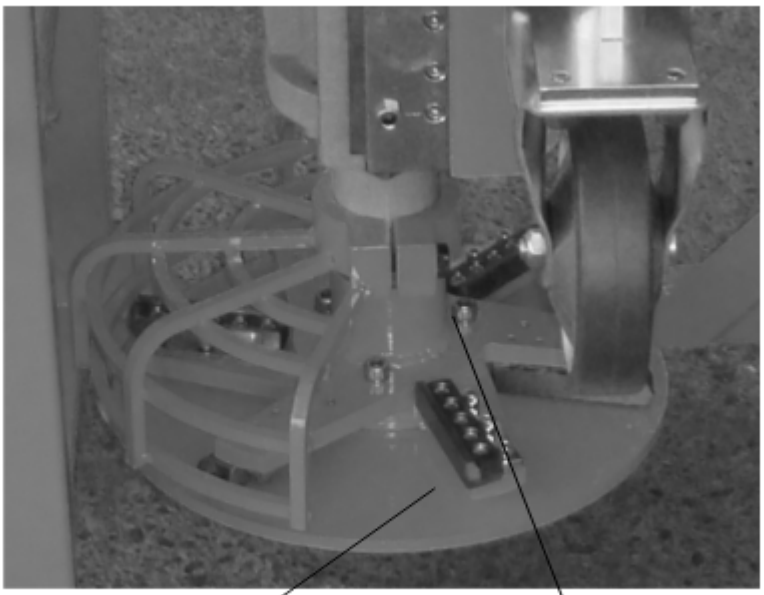
ロックボルトを緩め、左右の調整ハンドルで、本体の水平を見ながら
調整し、調整が終了後、ロックボルトを締め込む。



③刃物保護あて板

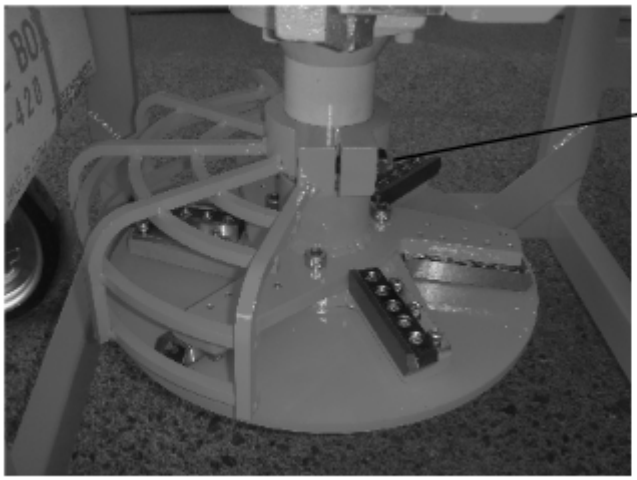
通常、あて板は作業時のみ脱着のこと。
（掘削替刃、先端部保護のため、必ずお守りください。）
あて板は、刃物ホルダ一部、上の3ほんのボルトによって取付られております。

作業時に付属の六角スパナ　8mmにより取り外してください。
<u>また、使用後は、お取り付けください。</u>



④刃物カバーの調整

刃物カバーは、カバーホルダー部の 2 本のボルトを緩めることにより、
脱着、及び位置調整（回転）が容易に行えます。
刃物ホルダーや、掘削替刃取替え時以外はカバーは外さないよう、
ご注意ください。



⑤刃物位置の調整（高さ）

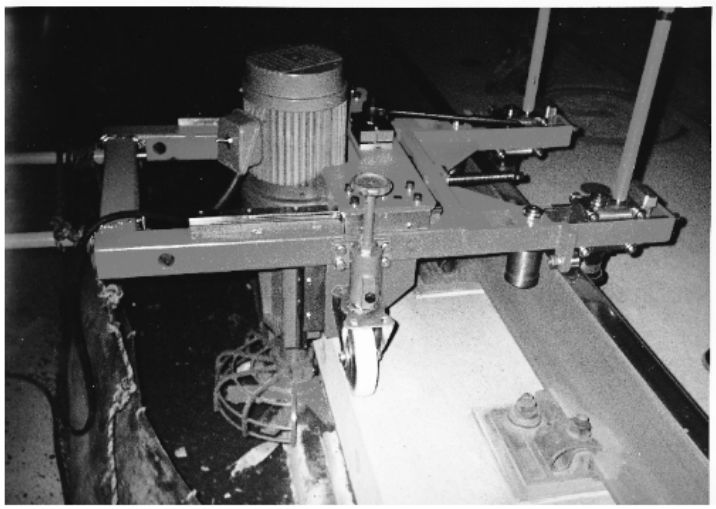
切り込みのロックボルトを緩め、刃先端を CA モルタル先部まで移動し、
次に高さ調整のロックボルトを緩め、刃先端を最下部まで下げ、高さ調整
ロックボルトを締める。

⑥切り込み

刃先が CA モルタルより逃げているのを確認後、切り込みロックボルトを緩め、
切り込みネジの先端に付属のラチェットスパナ（ 17 ）を取付、切り込み量を確認
しなかがら、所定の寸法まで切り込むこと。
切り込み終了後、ロックボルトを締めること。

⑦切削送り

切り込み終了後、(100mm)クランプベース上部のシャフトにハンドルを
挿入し、送り方向(左)に無理(過負荷)のないようにハンドルを操作します。



⚠
電源の結線・刃物回転方向の確認
プラグをコンセントに差し込み、回転方向を確認してください。
回転方向が逆回転の場合には、接栓組立内の結線を切り替えて
ください。

⚠
掘削替刃の取り扱い
本体を台車より降ろし、レールへセットする等の運搬時には、あて板を
取付けてください。刃物が欠けてしまう恐れがあります。

⚠
給油要領
本体7ヶ所にグリスニップルにてグリスアップできるようになっております。

鉄道保線機器のパイオニア
ご用命がございましたら、お気軽にご相談ください。

総発売元

鉄道保線機器　レールマン
RAILMAN®
株式会社石田製作所

本社　〒376-0013 群馬県桐生市広沢町1-2588
TEL 0277-54-1711（代表）
FAX0277-54-1716
JR 043-6170
営業時間　8:00～17:00
定休日　　土日／祝祭日／年末年始
ご相談・アフターサービス・修理担当窓口　本社　営業課

代理店
札幌・仙台・新潟・水戸・埼玉・東京・金沢・静岡・名古屋・大阪・岡山・
米子・北九州・福岡・大分

Copyright ISHIDA　MFG Co., LTD. All Rights Reserved